

# 軽井沢に アライグマが侵入しています！

資料

今年の夏以降、軽井沢でのアライグマの目撃情報が寄せられるようになりました。アライグマは…

## (1) 生態系を破壊します

移入種（外来の動物や植物）は、在来の動植物でバランスがとれていた日本の生態系を脅かします。ブラックバスが湖の魚を食べ尽くしていく例や、セイヨウタンポポが在来のタンポポを駆逐していった例などは有名です。アライグマは、生態的に近い位置にいるタヌキ・キツネ・テン・アナグマなど在来の野生動物と、食べ物やすみ場所をめくって競争する関係にあります。そしてその競争に打ち勝ちながら、生態系全体に大きな打撃を加えていくことが予想されます\*。また、このほかに予想のできない影響もあり得ます。

今後の影響がわからないから入れてはいけないのです！

\*北海道では、アオサギのコロニーを壊滅させた例や、アライグマの増えた場所でキツネやタヌキが減っているという事例が報告されています。

## (2) ヒトやペットへの感染症が懸念されています

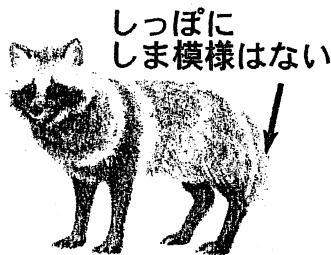
現在、アライグマカイチュウや狂犬病などの研究が進められています（北アメリカでは、相当高い割合でアライグマから狂犬病が検出されている地域もあります）。直接ヒトへの感染も心配されますが、餌場を通じて野性動物やペット・家畜と接触することが予想され、そこで感染が広まる恐れがあります。そしてペットから飼い主への感染も十分考えられるわけです。

## (3) 農作物への被害・家屋への侵入や破壊が起こります

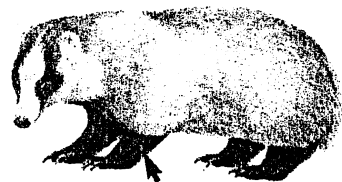
アライグマは木登りが得意で、人家の屋根裏などにもよく侵入します。トウモロコシや果樹などへの被害も北海道では既に甚大なものがあります。

### <アライグマと間違われやすい動物>

イラスト：ピッキオ



タヌキ (イヌ科)



アナグマ (イタチ科)



ハクビシン (ジャコウネコ科)

アライグマって…



指が長い しっぽがしま模様

北アメリカ原産のアライグマ科の動物で、昆虫や鳥の卵、小動物から果実まで何でも食べます。タヌキに比べて灰色っぽく、尾にしま模様があるのがいちばんの特徴です。体重はタヌキの1.5倍（5～7kg）にもなります。繁殖力が旺盛です。地面にも巣穴を掘りますが、木登りも大変得意で、木のうろなども利用します。

写真：平凡社「動物大百科1」より

### <日本への移入の経緯>

風貌やしぐさの愛らしさからペットとして輸入され、飼育する人が増えました。



気が荒く凶暴な性質のため、飼いきれずに逃がす飼い主が多いと思われます。手先が器用なため、自分で逃げ出したものも多数あると思われます。

→ 飼いきれなくなるおそれのある動物の飼育は絶対にやめましょう。

### ピッキオは、町内で野生化しているアライグマを

### 捕獲・駆除していく方針です。

北海道ではすでに条例で売買や飼育に規制をかけています。神奈川県\*\*などでも徹底して駆除していく方針です。

\*\*鎌倉市では3年間で被害届が8件、103件、340件と激増しています。

目撃情報は

ピッキオ (調査研究部・保護管理部)

0267-46-3818 (FAX兼用)

または 0267-45-7777

までお願いいたします。



picchio

目撃した際、

まちがっても餌を与えたりしないようお願いいたします。